

新型コロナウイルス感染症への対応状況等について

1 要旨・目的

新型コロナウイルス感染症の感染状況及び対応状況等について報告する。

2 現状・背景

レベル評価：レベル2

新規報告数（直近1週間の10万人当たり）：242.5人（1月18日現在）

感染経路不明割合（直近7日移動平均）：52.1%（1月17日現在）

確保病床の使用率：41.8%（1月18日現在）

入院率：2.7%（1月18日現在）

重症病床における確保病床の使用率：15.2%（1月18日現在）

3 概要

(1) 対象者

すべての県民・事業者

(2) 実施内容（詳細は別紙のとおり）

- ・PCR検査の実施
- ・医療・療養体制の確保
- ・医療資材の確保・供給 など

(3) スケジュール

—

(4) 予算

	(累計額)	(R3年度現計予算額)
新型コロナウイルス感染症対策	389,482 百万円	230,819 百万円
うち関係分 感染拡大防止対策	140,373 百万円	111,906 百万円
医療提供体制の確保	115,508 百万円	58,564 百万円

4 その他（関連情報等）

新型コロナウイルス感染症 まとめサイト

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/>

1 広島県の感染状況

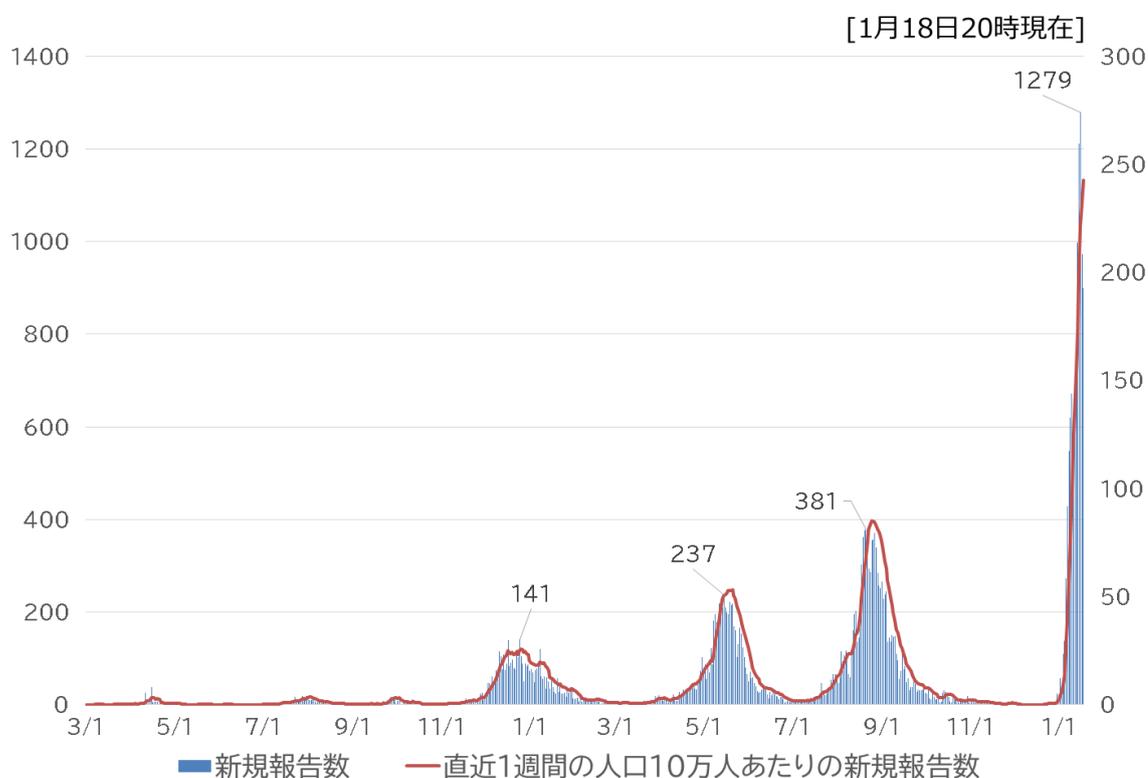
令和2年3月7日に最初の感染者が確認されて以降、感染拡大と収束が繰り返されている。感染力の強いデルタ株により最大規模となった昨年7月中旬からの感染拡大は、10月に収束し、全国的にも感染状況は落ち着いた状況が続いた。この間、ワクチン接種も着実に進捗し、2回目の接種を終えた人の割合（人口比）は75%を超えている。

昨年12月下旬から、更に感染力が強い「オミクロン株」による市中感染が確認され、年末年始を経て、これまでにない極めて速いスピードで感染者数が増加していることから、国の「まん延防止等重点措置」の適用を受け、県内全域を対象に、外出半減、県境を越えた移動自粛、飲食店の営業時間短縮の要請など、強い対策を講じている（期間は1月31日まで）。

保健・医療提供体制については、保健所の体制を強化するとともに、軽症・無症状の自宅療養者の増加に対応するため、フォローアップセンター（健康観察）、オンライン診療センター（診療・相談、薬剤処方）の設置のほか、入院病床や宿泊療養施設の確保と合わせ、重症化の防止と症状に応じた適切・迅速な医療提供体制を整備している。

ワクチンについては、オミクロン株に対して重症化予防の効果があるといわれていることから、市町における接種体制の確保とともに、大規模接種会場の設置前倒し、交互接種の推進など、ワクチン追加接種の取組を加速させることとしている。

新規報告数及び直近1週間の人口10万人あたりの新規報告数



新型コロナデータサイト 10/29オープン
<https://hiroshima.stopcovid19.jp/>

市町別直近 1 週間の人口10万人あたりの新規報告数

[1月18日20時現在]

	安芸太田町	北広島町	安芸高田市	三次市	庄原市	
	113.88	264.49	252.78			
廿日市市	広島市	府中町	東広島市			神石高原町
		181.99		167.69	43.02	22.46
		熊野町		世羅町	府中市	福山市
252.14	331.02	100.34	169.31	161.77	53.85	
大竹市	海田町	呉市	竹原市	三原市	尾道市	
399.25	281.46	299.10	47.81	148.23	104.41	122.39
	坂町					
	248.06					
		江田島市	大崎上島町			
		335.78	13.42			

新型コロナデータサイト 10/29オープン
<https://hiroshima.stopcovid19.jp/>

2 PCR検査の実施

[検査実施状況]

(令和2年1月30日～令和4年1月13日)

陽性件数 (A)	検査件数			陽性率 (A) / (B)
	行政機関実施	医療機関実施	合計 (B)	
28,002 件 (4,880 件)	731,598 件 (38,200 件)	333,964 件 (18,060 件)	1,065,562 件 (56,260 件)	2.63% (8.67%)

※ () 内は直近7日間(令和4年1月7日～令和4年1月13日)の検査状況

3 医療・療養体制の確保

(1) 入院病床の確保(令和2年4月14日～)

患者が発生した際の入院先の選定や搬送の調整を行うため、広島県新型コロナウイルス感染症患者トリアージセンターを開設している。

あわせて、感染拡大の状況(フェーズ)に応じた病床の確保目標を設定し、病床を整備している。現在は、4段階の通常フェーズ(1～4)のうちフェーズ3としている。

[病床確保・利用状況]

(1月18日現在)

入院者数	即応病床数	空床率
246 人	517 床	52.4%

(2) 宿泊療養施設の整備（令和2年4月21日～）

軽症者等の宿泊療養施設についても、計画的な居室数の確保に努めている。

[宿泊療養施設利用状況]

(1月18日現在)

入所者数	設置施設数	稼働室数	空室率
708人	15施設	2,334室	69.7%

(3) 軽症者等の搬送体制の整備（令和2年5月1日～）

民間の患者等搬送事業者の協力により、医療機関から宿泊療養施設等への患者搬送を実施したが、令和2年6月5日からは、県保健所等に搬送車両（CX-8）を導入した。

また、令和2年12月から民間のタクシー業者等に患者搬送業務を委託している。

4 医療資材の確保・供給体制

感染防止対策に必要な医療資材については、各事業者が自ら確保することが原則であるが、感染症が蔓延した時期において、市場での流通がひっ迫したため、県が医療体制の維持を目的として、備蓄や購入品、国からの供給スキームを活用して指定医療機関等を中心に配付してきた。

(1) 資材の配付状況

(1月17日現在)

区分	マスク	N95 マスク	ガウン	フェイスシールド	使い捨て手袋
感染症指定医療機関等	250.5 万枚	65.7 万枚	119.9 万枚	39.6 万枚	825.7 万枚
一般医療機関	385.1 万枚	45.4 万枚	37.0 万枚	9.9 万枚	778.0 万枚
歯科, 薬局, 軽症者療養施設 等	257.4 万枚	3.1 万枚	30.0 万枚	3.7 万枚	118.1 万枚
社会福祉施設等	228.1 万枚	—	17.3 万枚	9.9 万枚	50.5 万枚

(2) 現在の在庫状況

(1月17日現在)

区分	マスク	N95 マスク	ガウン	フェイスシールド	手指消毒薬	使い捨て手袋
在庫数	1,134.3 万枚	98.3 万枚	57.9 万枚	8.2 万枚	0.2 万L	2,042.5 万枚

5 現在の取組状況

(1) PCR検査体制の拡充

令和2年度に行った検査機器等設備整備事業によって、県内で1日に3,400件程度の受け皿を確保できた。

更に県外を含めた民間検査機関の活用やプール方式などの検査方法の活用も視野に入れた検査体制の拡充を図る。

(2) 「PCRセンター」「PCR臨時スポット」の開設

県内全ての高齢者施設、障害者（児）施設、医療機関、飲食店などの従事者、従業員及びその関係者等を対象にしたPCR検査を積極的に行うため、県内に「PCRセンター」を順次、開設しており、対象者や体制等を随時、見直しながら運用している。

[検査実施場所及び開設日時など]

名称	開設日	開設時間	対象者
広島（流川）PCRセンター	R2. 12. 5	毎日 11 時～20 時	県内外の居住者 及び就業者
広島（観音）PCRセンター	R2. 12. 10	毎日 11 時～15 時	
広島（本通り）PCRセンター	R3. 5. 17		
東広島PCRセンター	R2. 12. 29		
福山PCRセンター	R2. 12. 30		
三次PCRセンター	R3. 1. 10		
三原PCRセンターサテライト	R3. 6. 14		
廿日市PCRセンター	R3. 12. 31		
呉市PCRセンター	R4. 1. 7		
尾道市PCRセンター	R4. 1. 7		
広島駅北口PCR臨時スポット	R3. 6. 14		
流川PCRセンター臨時スポット	R3. 6. 14	毎日 11 時～20 時	
福山駅前臨時スポット	R3. 7. 22	毎日 7 時～15 時	
廿日市PCRセンター臨時スポット	R3. 12. 31	毎日 11 時～15 時	
呉市PCRセンター臨時スポット	R4. 1. 7		
尾道市PCRセンター臨時スポット	R4. 1. 7		

(3) 事業所PCR集中検査の実施

感染の連鎖を遮断し、早期発見、早期収束させるため、令和3年6月14日から感染者の発生した事業所の従業員等に対して、幅広く集中的に検査を実施している。

(1月18日現在実績 935事業所, 受検者数 33,278人, 陽性率 0.8%)

(4) 医療機関、介護施設等における検査

重症化リスクのある者が多く入院・入所している医療施設及び介護施設等において、感染者を早期に発見し、感染拡大の防止を図るため、施設の従事者等に対する定期的な検査を令和4年1月14日から再開した。当面の間、医療機関、介護施設等での定期的な検査を月2回程度に拡充して実施している。

(5) 積極ガードダイヤル等の相談・受診体制

インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行に備え、発熱など風邪に似た症状が増えることを想定して、県民がスムーズに診療・検査を受けることができるよう、かかりつけ医や「受診・相談センター」（積極ガードダイヤル）により「診療・検査医療機関」（1月12日現在1,363か所）を速やかに案内する相談・受診体制を整備した。

過度な受診控えは、健康上のリスクを高める可能性があることから、県民が必要な受診やがん検診、乳幼児健診、予防接種などを継続するよう働きかける啓発を行っていく。

(6) こころの健康対策

新型コロナウイルス感染症の影響により、ストレスや不安を感じる県民への心のケアを行うため、「広島県こころの悩み相談【コロナ関連】」（電話相談・SNS相談）を令和2年5月25日より開設した。（12月末現在 相談件数1,442件：SNS745件、電話697件）

(7) 入院医療体制の充実・強化

更なる病床確保に向けて、配慮を要する患者のための受入医療機関の確保のため、関係医療機関と調整を進めている。

区分	内容
周産期医療	感染症の重症度及び妊娠時期により、受入医療機関を定めたフローを策定しており、受入医療機関での受入準備を整えている。
小児医療	感染症の重症度に応じて、受入医療機関を定めたフローを策定しており、受入医療機関での受入準備を整えている。
救急医療	感染が疑われる患者がたらい回しされることのないよう、輪番病院等での受け入れが難しい場合の受入先となる医療機関を定めている。 引き続き、各圏域における受入体制の強化を図る。
透析医療	感染症の重症度に応じて、受入医療機関を定めたフローを策定しており、受入医療機関での受入準備を整えている。
精神医療	精神疾患及び感染症の重症度に応じて、受入医療機関を定めたフローを策定しており、各医療機関と個別に調整を実施している。
神経・筋疾患	神経・筋疾患の状況及び感染症の重症度に応じて、受入医療機関を定めたフローを策定しており、受入医療機関での受入準備を整えている。

(8) 宿泊療養施設の運用

患者の動向を注視しながら、新たな宿泊療養施設の運用開始や運営方法等について、確保済み施設、市町、医療機関等と調整を行うなど、計画的に準備を進める。

(9) 宿泊療養者・自宅療養者等の重症化予防体制の拡充

宿泊療養施設や自宅での療養中に症状が悪化した場合は、対面診療を行う陽性者外来の受診を調整し、宿泊療養施設では更にオンラインによる巡回診療体制を確保している。

また、自宅療養者の健康観察は、多くは民間事業者に委託して運営するフォローアップセンターで行い、発熱等の症状により受診が必要な場合は、広島県オンライン診療センター（令和4年1月14日設置）や、オンライン診療を専門に行う民間事業者も活用して、確実に医療につなげている。

更に経口抗ウイルス薬についても、診療・検査医療機関やオンライン診療センターで処方し、近隣の薬局から自宅に配送できる体制を確保している。

[広島県オンライン診療センター運営状況]（令和4年1月14日～令和4年1月17日）

診療件数			薬剤処方
	オンライン	電話	
109件	66件	43件	103件

(10) 医療資材の安定的確保・供給

医療機関等で医療資材がひっ迫した際の備えとして、これまで進めてきた備蓄の量の見直しを行い、使用量の増加や緊急的な供給対象を勘案し、マスクと手袋について備蓄量を増やすこととした。加えて、今後新型コロナウイルスを上回る感染力・毒性を持つ感染症（以下「強毒性感染症」という。）が発生した場合に備え、防護服（セット）及びN95マスクを追加で備蓄することとした。

備蓄している資材については、県が直接保管管理を行っていたが、倉庫業者へ入出庫や保管管理業務を委託し、迅速に供給できる体制を整備した。

(11) 社会福祉施設等に対する支援

令和2年7月より、県福祉サービス調整本部において、新型コロナウイルス感染症が発生して運営が困難となった介護施設等へ応援職員を派遣する体制を構築している。

派遣時期	派遣施設	派遣者数	備考
令和3年 1月 15日～1月 24日	高齢者施設	2名	
令和3年 6月 4日～6月 17日		2名	
令和3年 6月 8日～6月 20日		1名	

(12) 「広島コロナお知らせQR」の実施

QRコードを活用し、新型コロナウイルス感染症の感染者と同じ時間帯に同じ施設を利用した方に、感染者との接触の可能性を知らせ、検査の受検を促す「広島コロナお知らせQR」を令和2年8月14日から開始した。国の接触確認アプリ「COCOA」とともに、飲食店を中心に積極的に活用いただけるよう事業者、県民への更なる周知を図っていく。

(13) **新型コロナウイルス抗体保有率調査**

本県の新型コロナウイルス感染症対策に資するため、令和2年度に新型コロナウイルス抗体保有率調査（計3回）を実施した。

令和3年度も広島大学と共同で同様の調査を実施し、第4回調査の抗体保有率は88.0%（速報値）と大きく向上した。更にワクチン2回接種者では抗体保有率99.5%と高い値を示している。

引き続き県民の抗体保有率の変化や、ワクチン接種による影響などについて調査を継続する。